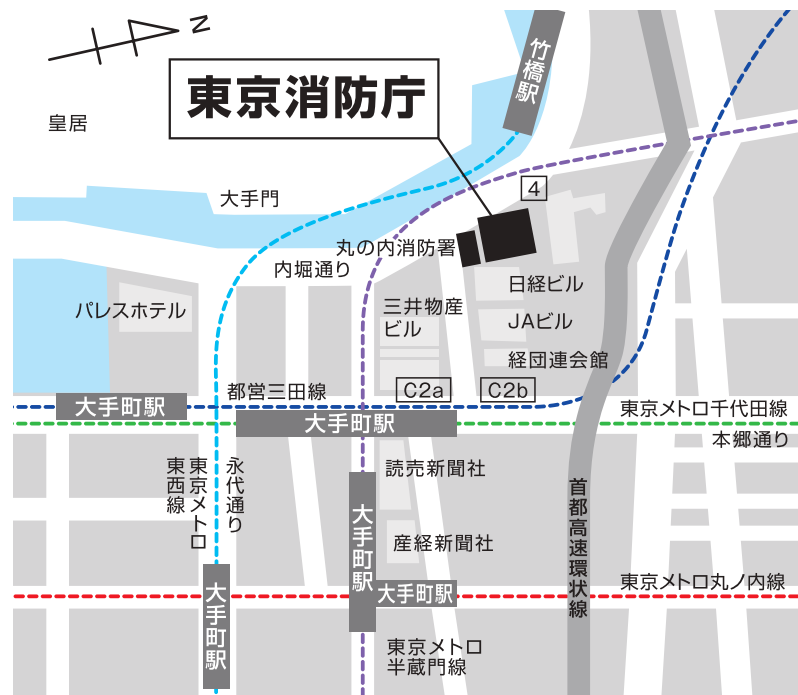


消防マスコット「キュータ」

黄色のアンテナで危険を察知し、どんな災害でも駆けつけて救助・救命する、都民に愛される未来消防士をイメージしています。



東京消防庁 本部庁舎のご案内



交通

東京メトロ東西線竹橋駅4番出口すぐ
東京メトロ千代田線・半蔵門線・丸ノ内線・都営三田線
各線大手町駅C2a・C2b出口徒歩1分

〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話 03-3212-2111(代表)

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

東京消防

検索



東京の消防

FIRE SERVICE IN TOKYO



東京消防庁

目次

03 主な出来事

さまざまな災害に立ち向かう消防隊
救急出場ひっ迫時の対応／救急隊を増隊

05 組織

東京消防庁管轄区域／組織図
消防力／階級等

07 車両紹介

さまざまな災害に対応する消防車両の紹介
Topic：無人走行放水装備
救助車両／救急車両
まだまだあります！東京消防庁の特殊車両
空の消防／海の消防

13 火災

火災件数と死者数の推移／令和4年住宅火災の出火原因
消火隊などの紹介／備えて安心！住宅用防災機器

15 救助

救助件数の推移／令和4年中の事故種別ごとの出場件数
消防救助機動部隊／Topic：強力吸引車
救助隊などの紹介／Topic：国際緊急援助隊（救助チーム）

17 救急

救急出場件数の推移／令和4年初診時程度
「自動式心マッサージ器」を導入！／救急隊などの紹介
あなたの応急手当が大切な命を救います／Topic：応急救護普及車
病院？救急車？迷ったときは#7119に相談しましょう

19 災害救急情報センター

119番通報件数の推移／令和4年中の119番通報内訳
119番通報の多言語対応／口頭指導体制を強化
119番は落ち着いて、安全な場所から通報
Topic：屋外で住所が分からないときは…？／
119番通報がつかないときは…？

21 テロ・警戒・火山対策

テロ災害対応訓練／Topic：特殊災害対策車（除染車）
統合機動部隊／警戒／火山対策

23 消防体制の確保

消防職員・消防団員の育成
安全対策の推進／確実な機器を災害現場へ
採用情報～未来を、私たちの手で～

25 火災予防

繁華街地域における防火安全対策
避難経路の安全確保のための取組／
建物の安全・安心情報の発信
飲食店火災への対策／ガソリン販売時の注意喚起
電気火災の予防
オンラインで様々なコンテンツをご覧ください
Topic：AR訓練機器

27 防災

住宅用火災警報器等の維持管理の促進
家具類の転倒・落下・移動防止対策
高齢者などの安全対策／こどもの日常生活事故防止
まちかど防災訓練／マンション防災訓練
防火防災訓練ポータルサイト／VR映像を使った防災教育
防災訓練用車両の紹介
Topic：関東大震災から100年

29 消防団

消防団の入団条件／処遇
技能講習／組織／施設／可搬ポンプ積載車
Topic：組織力を充実・強化するための制度

31 都民のみなさまとともに

東京消防庁音楽隊・カラーガーズ隊
消防少年団／東京消防庁災害時支援ボランティア

32 情報発信

東京消防庁公式ホームページ
東京消防庁公式アプリ／SNSによる情報発信
YouTube東京消防庁公式チャンネル

33 ご案内

消防博物館／防災館
都民相談窓口／災害情報案内／消防署窓口



さまざまな災害に立ち向かう消防隊

発生する災害はさらに複雑に、そして多様化しています。
あらゆる災害に対応し、都民の安全・安心を守るため、東京消防庁では、最新鋭の消防車両や装備を備え、日々訓練を重ねています。



救急出場ひっ迫時の対応

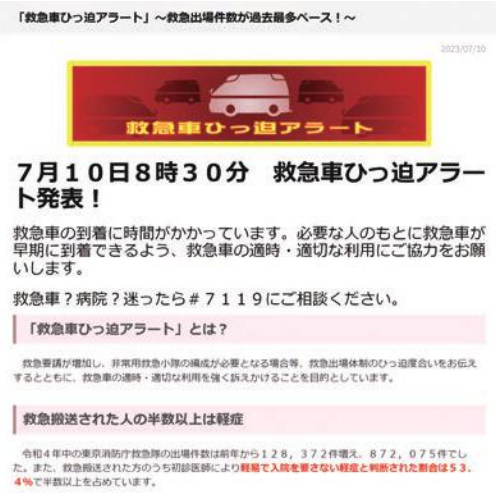
令和5年の夏は、連日の猛暑により熱中症の救急搬送が相次ぐなど、救急出場が多い状態が続きました。当庁では、このようなひっ迫する現場の状況を受けて、臨時の救急車を増強して出場させるなど、全庁を挙げて対応しました。
また、当庁ホームページやSNSを活用して、救急車の適時・適切な利用を広く周知しました。



▲現場へ出場する救急隊



▲救急出場ひっ迫時の指令室の様子



▲「救急車ひっ迫アラート」特設ページ



▲キュータが動画で熱中症 対策を呼び掛ける



▲X(旧Twitter)の投稿

救急隊を増隊

増加する救急需要に対応するため、24時間運用する救急隊3隊、日中の時間帯に運用するデイトタイム救急隊4隊を増隊しました。



▲現場に到着する救急隊



▲救急隊の活動訓練

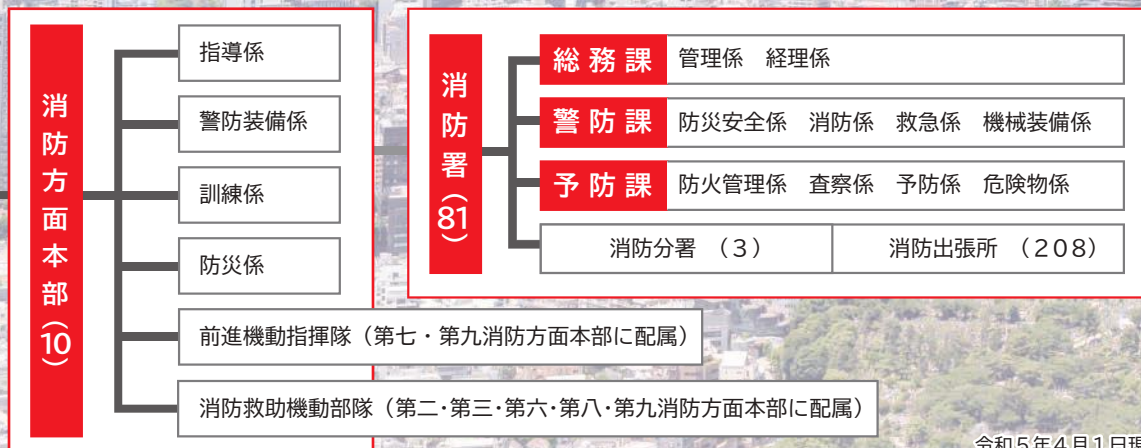
令和5年10月運用開始：救急隊(赤羽署志茂出張所、小平署花小金井出張所、国分寺署)デイトタイム救急隊(成城署、向島署、八王子署、町田署)

東京消防庁管轄区域

東京消防庁は、昭和23年3月7日、自治体消防として発足以来、都民の生命、身体及び財産を災害から守るため、島しょ地域と稲城市を除く東京都のほぼ全域の消防防災業務を担っています。

高層マンションや商業施設が多い都市部、緑深い山々が広がる山間部など約1,770平方キロメートル、人口約1,400万人を、約18,600人の職員が、みなさまの安全・安心を守るため消防行政を強力に推進しています。

組織図



令和5年4月1日現在



消防 力

管内の各消防署に最新鋭の消防車両などを計画的に配置するとともに、災害にいつでも対応できるように職員が24時間体制で勤務しています。

消防職員合計	18,684人	消防署	81署
消防吏員	18,262人	消防分署	3分署
消防吏員以外の職員	422人	消防出張所	208所
		消防車両等	2,013台

令和5年4月1日現在

令和5年4月1日現在

階級等

統制ある組織運営と部隊活動のため、職員（消防吏員）には10の階級等があります。

階級章等	消防總監	消防司監	消防正監	消防監
				
				
				

さまざまな災害に対応する消防車両の紹介

東京消防庁では都内の消防施設に様々な車両を配置し、複雑化している災害に対して迅速に出場できる体制を整えています。

ポンプ車



火災発生時に消火活動を行うための車両です。消火栓や防火水槽などから水をくみ上げ、毎分 2,000リットル以上放水可能なポンプを搭載しています。

10トン水槽車



容量10,000リットルの水槽を装備している車両です。震災時や高速道路火災など近くに水利がない災害現場においても、すぐに消火活動を開始することができます。

化学車



通常の放水では消火が難しいガソリンなどの危険物火災に対応するための車両です。消火に必要な泡消火薬剤や発泡器具を積載しています。

指揮隊車



災害現場で指揮本部を設置し、情報収集や活動命令を下すために運用する車両です。ワンボックス型の車両に、無線機等の通信機や指揮台、拡声器などを搭載しています。

はしご車



主に高所での救助、消火活動を行う車両です。30メートルと40メートルの高さまで届くものや、車いすのままバスケットに搭乗できるはしご車があります。

消防活動二輪車



高速道路や山岳地域の災害現場にいち早く到着するため、オフロードタイプの自動二輪車をベースにした車両です。

トイレカー



長時間に及ぶ災害活動を支援するため、トイレ機能に特化した車両です。男性と女性にスペースを分け、トイレ設備のほか手洗い器、ハンドドライヤー等を設けています。

補給車



災害活動が長時間に及ぶ場合、災害現場において水分補給、給食ができる機能を備えた車両です。給湯設備、流し台、テント装置等を装備しています。

Topic

無人走行放水装備

遠隔操作により離れた場所から泡を放射し消火する車両です。大量の風を送り、有毒ガスを排出する機能もあり、石油コンビナート・航空機・タンクローリー等の火災など、消防隊員が接近できない災害に対応することができます。



▲放水する様子



▲泡放射の様子



▲無線操作装置を操作する隊員

救助車両

救急車両

救助車



特別救助隊が災害現場で救助活動に対応するための車両です。ウインチ装置、昇降式照明装置、発電装置等を装備し、約500種類の救助資器材を積載しています。

救急車



救急救命士による高度な処置が行える資器材を積載しています。傷病者に走行中の振動を与えないよう、揺れを吸収するための防振架台を装備しています。

水難救助車



水難救助隊が港湾、河川等の救助活動に対応するための車両です。スクーパーセット収納装置、船外機収納装置、照明装置、シャワー装置等を装備しています。

陰圧型特殊救急車



感染症の疑いのある傷病者に対応可能な車両です。運転室と傷病者室との間に隔壁を設け、陰圧装置によりウイルスや細菌が外部に流出することを防止できる構造です。

山岳救助車



山岳救助隊が、山岳災害での救助活動を行う車両です。走破性に優れた四輪駆動車をベースに、バスケット担架等の資器材を積載可能なルーフキャリア、可動棚式資器材収納庫を装備しています。

電気救急車



日本で初めての導入となる電気救急車です。重体重の傷病者への対応力を強化するため、電動ストレッチャー等を備えています。

救出救助車(全地形活動車)



ぬかるんだ場所や急な斜面、浸水地など、あらゆる地形を走行可能な車両です。情報収集や初動の救助活動、資器材搬送など、多岐にわたって活躍します。

特殊救急車(スーパーアンビュランス)



救急車として傷病者搬送を行えるほか、救護所としての機能を有した車両です。ボディを左右に拡張することで、最大約40平方メートルのフラットな床面になり、最大8床のベッド数を備えることができます。

まだまだあります！東京消防庁の特殊車両



油圧ショベル



トラクタショベル



クレーン車



重機搬送車



遠距離大量送水装備



高機動救助車



高機能指揮支援車



エアボート

空の消防

消防ヘリコプターは、中型機4機(ちどり・かもめ・つばめ・おおたか)、大型機4機(ひばり・ゆりかもめ・こうのとり・はくちょう)の合計8機を運航し、空からの消火、救助、情報収集、救急患者の搬送等を行っています。



▲消火活動をする消防ヘリコプター



▲消防ヘリコプターの操縦席



▲消防ヘリコプターから降下する隊員

大型ヘリコプター



ひばり



ゆりかもめ



こうのとり



はくちょう

中型ヘリコプター



ちどり



かもめ



つばめ



おおたか

※「おおたか」は総務省消防庁の機体です。

海の消防

東京消防庁には9艇の消防艇があり、日本橋消防署、臨港消防署、高輪消防署に配置されています。船舶火災の消火に加え、港や海上での火災警戒、他船への火災予防の呼び掛け、河川や海での水難救助活動を通じて、東京港の安全を守っています。



▲大型化学消防艇「みやこどり」



▲水難救助訓練の様子



▲要救助者を救出する水難救助隊

大型消防救助艇



おおえど

化学消防艇



ありあけ



かちどき

指揮艇



はやて

水難救助艇



はるみ



きよす



はまかぜ

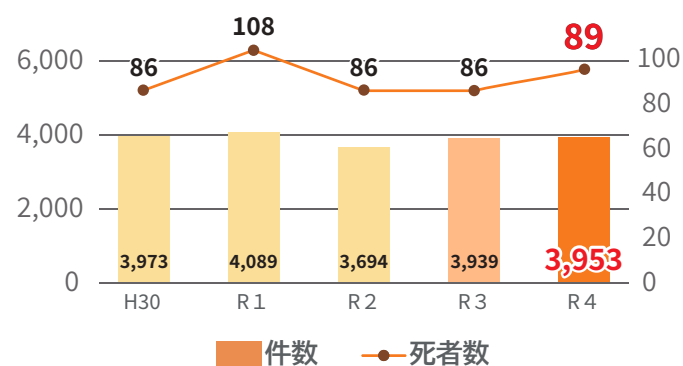


しぶき

火災

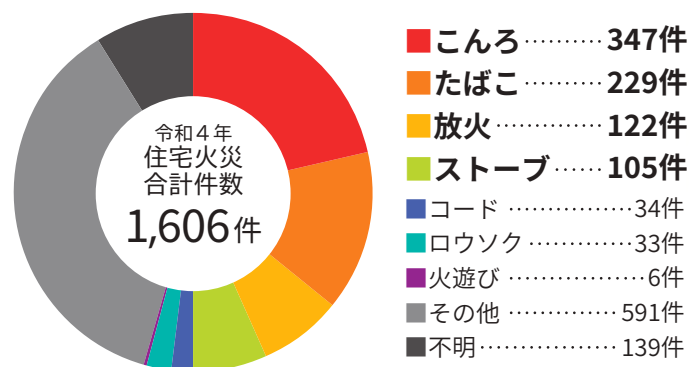
あらゆる火災に迅速的確に対応するため、高度な知識、技術と強靱な体力を持った精強な消防部隊を育成、配備しています。

火災件数と死者数の推移



※令和5年の速報値 火災件数4,236件 死者数87人

令和4年住宅火災の出火原因



ポンプ隊



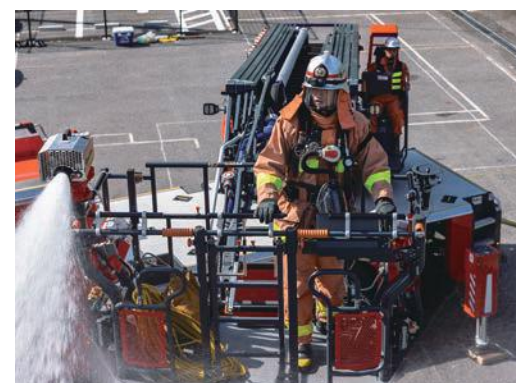
火災現場での消火活動を主軸に活動する部隊です。救急車が到着するまでの間に応急手当などを行うPA連携にも対応しています。

特別消火中隊



複雑多様化する火災に対応するための高度な活動能力を有する消火部隊です。

はしご隊



高層階に残された人の救出や、高所からの放水を行う部隊です。

指揮隊



大隊長を中心とし、火災現場に出場している部隊を指揮・統括する部隊です。

備えて安心！住宅用防災機器

火災にいち早く気づくことができる「住宅用火災警報器」、火が接触しても着火しにくく燃え広がるのを防ぐ「防災品」、火災の被害軽減に有効な「消火器」をご家庭に備えましょう。

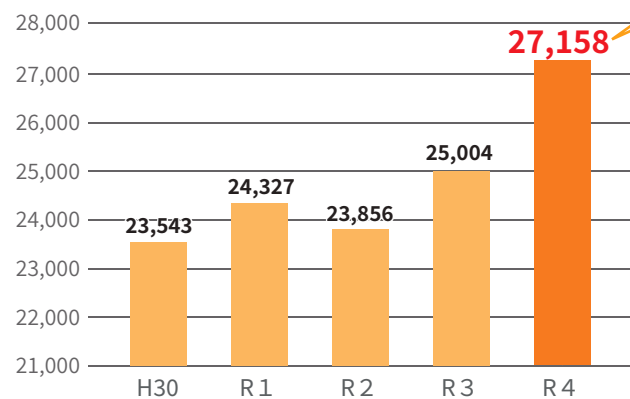
STOP! 住宅火災
住宅防火の心得はこちら



救助

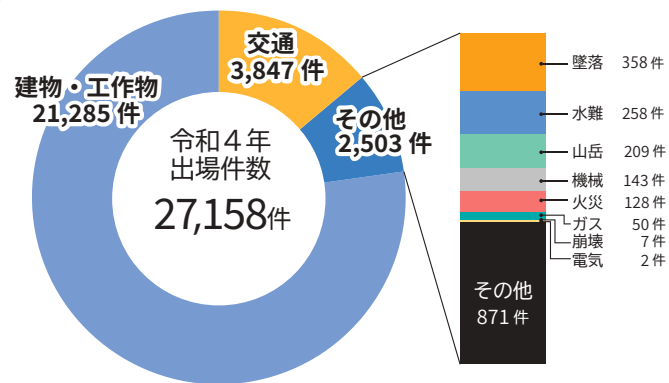
火災、交通事故、化学災害、水難事故、山岳事故等から命を救うため、高度な知識・技術・装備を備えた専門部隊を配置し、多種多様な災害に適応した救助活動を展開しています。

救助件数の推移



※令和5年の速報値 27,839件

令和4年中の事故種別ごとの出場件数



消防救助機動部隊

Topic 強力吸引車

強力な吸引力で土砂を除去して災害活動を行う車両です。最長100メートルの吸引ホースを延長し、水分量の多い土砂や乾いた砂、泥水、瓦礫などを吸引することができます。



建物の倒壊や土砂崩れなどの大規模災害に対応し、消火・救助・救急活動が同時に行える部隊です。

【配置状況】
第二・第三・第六・第八及び第九消防方面本部



▲吸引車と吸引ホース
※第九消防方面本部消防救助機動部隊に配置されています。



▲訓練で土砂を吸引の様子

特別救助隊



救助に関する高度な知識と専門技術、特殊な資器材を駆使し、火災や交通事故、自然災害などで人命救助にあたる部隊です。

【配置状況】
麴町ほか22署

水難救助隊



水難事故で人命救助にあたる部隊です。消防艇や消防ヘリコプターと連携して救助活動を行います。

【配置状況】
日本橋・臨港・大森・足立・小岩・調布

山岳救助隊



山岳事故で人命救助にあたる部隊です。車両が進入できない危険な場所での活動では、消防ヘリコプターと連携して救助活動を行います。

【配置状況】
八王子・青梅・秋川・奥多摩

化学機動中隊



危険物やNBCなどが原因の特殊災害現場での人命救助、漏えい拡大の防止、除染などの活動をする部隊です。

※NBC…放射性物質、生物剤、化学物質のことを指します。

【配置状況】
赤坂・大井・本郷・志村・千住・城東・三鷹・日野・福生

航空消防救助機動部隊



陸上から対応困難な高層ビルや孤立地域、山間部、水上での災害など上空から救助活動を行う部隊です。

【配置状況】
江東航空センター・多摩航空センター

即応対処部隊



広域自然災害発生時に、災害状況の迅速な確認・把握や、他隊と連携した救出活動を任務とする部隊です。

【配置状況】
救助課

※配置状況…令和5年4月1日現在

Topic

国際緊急援助隊(救助チーム)

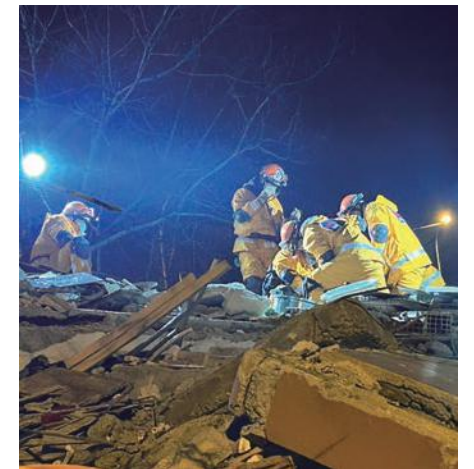
海外で大規模な災害が発生した場合に、国際緊急援助隊の救助チームとして被災国へ派遣され、救助活動を行う部隊です。近年では、令和5年2月6日にトルコ共和国で発生した地震に伴い、当庁から6名の職員が派遣され、捜索救助活動に従事しました。



▲トルコ共和国への出発式の様子



▲トルコ共和国での捜索救助活動（JICA提供）

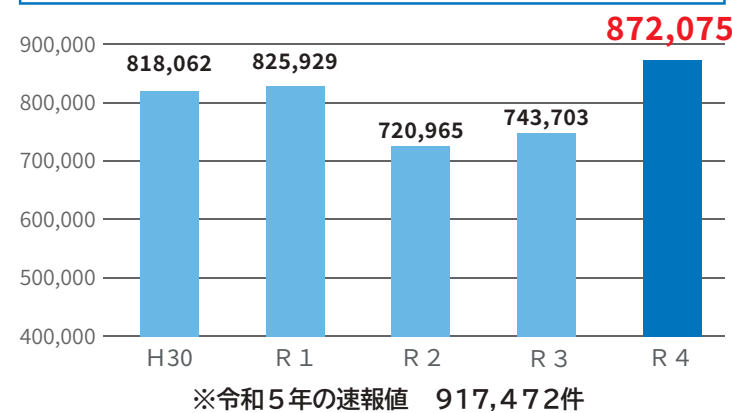


▲トルコ共和国での夜間の捜索救助活動（JICA提供）

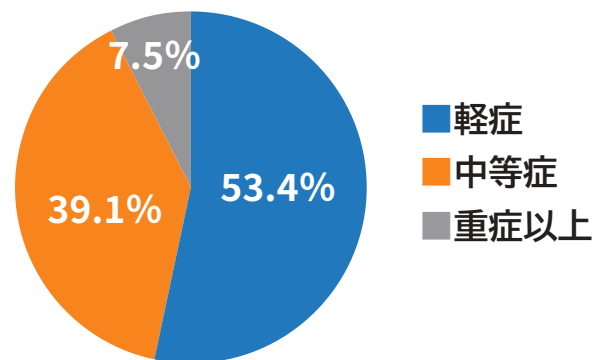
救急

超高齢社会の進展等に伴い、救急需要の増加が見込まれます。救急隊が現場に到着するまでの時間を短縮するため、計画的な増隊や機動的な運用を行っています。
また、都民のみなさまに対して、救急車の適時・適切な利用も呼び掛けています。

救急出場件数の推移



令和4年初診時程度



「自動式心マッサージ器」を導入！～救命効果の向上を目指して～

救急現場から病院に到着するまで、継続した心臓マッサージを可能とする資器材です。令和5年度から全救急隊に順次配置しています。



▲自動式心マッサージ器



▲活用イメージ

救急隊



高度な救急サービスを提供するため、全ての救急隊に救急救命士を配置し、適切な応急処置と迅速な病院への搬送を行うための体制を確保しています。

救急機動部隊



時間帯等によって変化する救急需要に応じて待機場所を変え、現場到着時間の短縮を図っています。感染症、NBC災害、多数傷病者等、様々な救急事案にも備えています。

デイトム救急隊



日中の救急需要対策を強化するため、平日の日中に運用している救急隊です。育児や介護等の事情で、24時間勤務が難しい職員の活躍の場にもなっています。

あなたの応急手当が大切な命を救います

けが人や急病人が発生した場合、バイスタンダー（その場に居合わせた人）がすぐに応急手当を行い、救急車が到着するまで続けることで、命が助かる可能性が非常に高くなります。いざという時に手を差し伸べられるよう応急手当を学びましょう。

応急手当を学ぶ方法

- 東京消防庁公式アプリ
- 東京消防庁HP電子学習室
- 救命講習
- 地域の防災訓練等
- YouTube 東京消防庁公式チャンネル



電子学習室



救命講習

Topic

応急救護普及車

イベントなどで応急救護訓練をすることができる車両です。心肺蘇生の訓練ができる人形や、訓練用AEDなどを積載しています。



▲展示台やモニターを内蔵



▲東京国際消防防災展2023での応急救護訓練

病院？救急車？迷ったときは#7119に相談しましょう

急な病気やけがをして、病院に行くか、救急車を呼ぶか迷った際の相談窓口として、「東京消防庁救急相談センター」を開設しています。救急相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者などの職員）が24時間年中無休で救急相談や受診可能な救急医療機関の案内を行っています。

電話で相談(東京消防庁救急相談センター)



ネットでガイド(東京版救急受診ガイド)

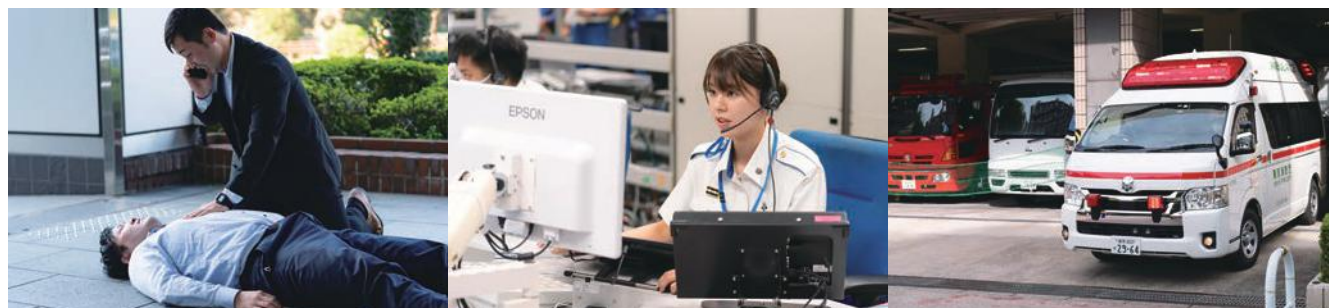


こちらのQRよりご覧ください！

災害救急情報センター



東京都内※からの119番通報は、特別区では千代田区の特別区災害救急情報センターに、多摩地区では立川市の多摩災害救急情報センターに入電します。119番通報以外にも、警察機関や交通機関からの通報や緊急ネット通報、119番ファクシミリ通報、電話リレーサービスを介した119番通報、救急直接通報などの様々な通報に対応しています。 ※稲城市、島しょ地区を除く

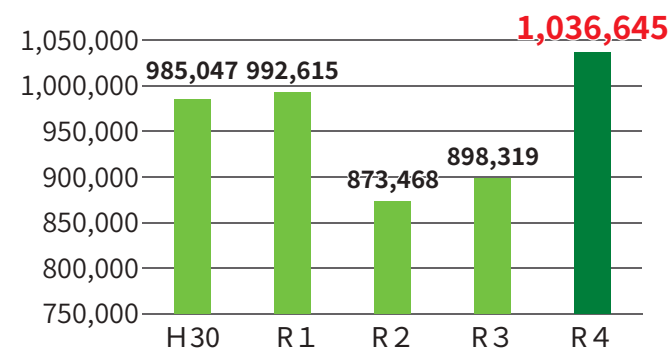


通 報

出 場 指 令

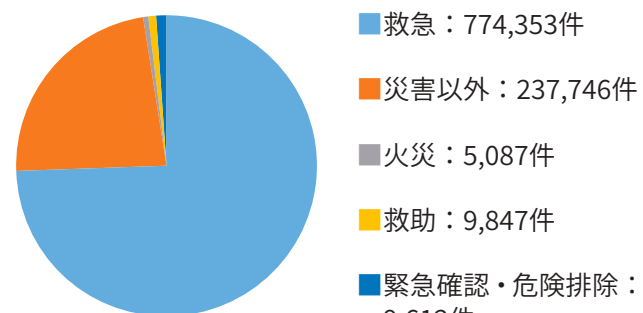
出 場

119番通報件数の推移



※令和5年の速報値 1,102,956件

令和4年中の119番通報内訳



※令和4年中は1日平均約2,840件、およそ30秒に1件の割合で受付したことになります。

119番通報の多言語対応

英語、中国語、韓国語・ポルトガル語、スペイン語については、通訳センターを介した同時通訳を行っています。

口頭指導体制を強化

119番通報後に応急手当が必要な場合、電話により口頭で応急手当のアドバイスを行っています。これに加え、スマートフォンの動画送信機能を活用し、視覚的な情報により傷病者の正確な容態把握や効果的な応急処置の伝達が可能となる「Live119」を近年導入し、映像を活用した口頭指導を実施しています。



通 報 者



災害救急情報センター

119番は落ち着いて、安全な場所から通報

火災の場合に伝えること



消防車が向かう正確な場所

例：千代田区大手町〇丁目〇番〇号

何が燃えているか

例：台所で鍋が燃えています。

救急の場合に伝えること



救急車が向かう正確な場所

例：千代田区大手町〇丁目〇番〇号

誰がどんな症状・容体が

例：おばあさんが突然倒れて意識がありません。

通報した人の連絡先

救急隊から折り返しの電話をかける場合があります。

Topic

屋外で住所が分からないときは…？

付近の目標となる建物や住所表示などで確認してください。

- ・ 近くの大きな建物や店舗などの名前（例：「〇〇区〇〇ビルの前です。」「△△郵便局の近くです。」）
- ・ 道路名や交差点名（例：「〇〇通りと△△街道の交差点です。」「〇〇街道の△△交差点です。」）
- ・ 電柱の住所表示や自動販売機の住所表示ステッカー

※コンビニエンスストアなど営業している店舗で住所を聞く方法もあります。

119番通報が繋がらないときは…？

- ・ 通報はつながるまで自分からは電話を切らないでください。
 - ・ お近くの消防署でも通報を受け付けています。
 - ・ 緊急性を要しない消防に関する問合せは、119番通報ではなく管轄の消防署に連絡してください。
- ※救急搬送や災害に関係のない119番通報については、最後まで話を聞かずに切断する場合があります。

救急車を呼ぶか迷ったときは#7119をご利用ください。

緊急時以外の相談窓口は34ページをご覧ください。

テロ・警戒・火山対策



テロ災害対応訓練

大規模テロや弾道ミサイルの落下など、武力攻撃災害等に対応するため、消火、救助、救急等への対処のほか、各行政機関と連携した訓練を実施しています。



▲部隊の集結



▲要救助者を救出する隊員（陽圧式防護衣）



▲傷病者の水的除染（シャワー）



▲傷病者の拭き取り除染



▲隊員の除染

Topic 特殊災害対策車（除染車）

NBC災害に対応するための車両です。脱衣兼シャワー室、折り畳み可能な昇降式担架用シャワー室、給湯装置等を備え、車内で迅速な除染活動を行えます。



▲車両外観



▲昇降式担架用シャワー室を展開した様子

統合機動部隊

テロ等の大規模災害発生時に多数の傷者を迅速に救出するため、東京消防庁の消防車両などを集結し、万全な活動体制と即応体制を確保するために整備された部隊です。



▲通信機器や作戦スペースを設けたコマンドカー



▲車内の作戦スペース

警戒

年末年始や祭礼、各種イベントなどの開催に伴う消防特別警戒を実施し、災害発生時の即応態勢の強化を図っています。



▲G7広島サミットでの派遣車両の夜間待機



▲G7広島サミットで警戒場所へ向かう隊員



▲ロードレース大会での警戒



▲祭礼での警戒

火山対策

富士山等の大規模噴火に備え、東京消防庁火山災害対策基本方針の策定のほか、諸外国の取組の調査、効果的な資器材の整備など、火山対策を推進しています。



▲ワシントン州危機管理センターでの意見交換の様子



▲過去の災害から対策を強化（御嶽山噴火災害の活動の状況）

消防体制の確保



消防職員・消防団員の育成

新しく採用された消防職員の初任教育、特別救助隊や救急救命士の養成をはじめとした専門的な技術を習得する専科教育、管理監督者として必要な能力を身につける幹部教育などを行っています。また、地域の防火防災行動力の要となる消防団員の教育訓練等も行っています。



▲初任教育中の消防学生



▲消防団員の専科教育



▲救急救命士養成課程研修



▲特別救助技術研修

安全対策の推進

消防や救急活動での重大事故を防ぐため、事故原因の分析や再発防止対策の充実強化に取り組み、消防業務における事故を減らす安全対策を推進しています。

また、科学的見地に立った各種調査研究や、火災原因の鑑定等を行い、都民生活の安全確保や消防活動時の安全性の向上にも取り組んでいます。



▲消防隊員の熱中症に関する研究



▲火災原因の鑑定

確実な機器を災害現場へ

消防部隊が使用する車両、器具等を常に最良の状態に保つため、点検整備を行っています。

また、災害現場等において消防車両等にトラブルが発生した場合は、現場へ急行し、緊急整備を行えるよう24時間体制で消防隊をサポートしています。



▲救急車を整備中の整備士



▲整備工場



▲G7広島サミットでの車両整備

採用情報 ～未来を、私たちの手で～

業務内容や採用試験、業務説明会についての情報を「東京消防庁採用情報サイト」で公開しています。



▲東京消防庁採用情報サイトのトップページ



▲職員紹介ページ



火災予防



火災の発生を未然に防ぐため、建物や危険物施設などの検査や防火管理の指導、火災原因調査・分析などを行い、都民のみなさまの安全・安心の確保に努めています。

繁華街地域における防火安全対策



▲歌舞伎町の夜間査察に向かう機動査察隊

都内有数の繁華街である新宿歌舞伎町地域における防火安全の充実を図るため、新宿消防署に24時間常駐する「機動査察隊」を配置しています。夜間・休日の立入検査や違反是正指導を強化するとともに、各種届出等の窓口開設時間を拡大し対応しています。

避難経路の安全確保のための取組



▲ビルの関係者に避難経路の安全確保について指導

建物の安全・安心情報の発信

●優良防火対象物認定表示制度(優マーク制度)

防火安全性の高い優良な建物を認定する制度です。

●違反対象物の公表制度

消防法令違反のある建物を公表する制度です。



優マーク

東京消防庁公式アプリのマップ機能で確認できます。32ページをご覧ください。

飲食店火災への対策



▲飲食店従業員にダクト汚れの危険性を指導

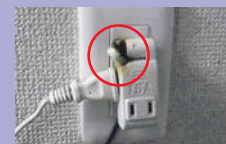
ガソリン販売時の注意喚起



▲ガソリンスタンドの従業員に、ガソリンを携行缶に入れて販売する際の本人確認等の必要性を指導

電気火災の予防

近年、電気製品を原因とする火災が増えており、全火災件数のおよそ3割を占めています。東京消防庁では「小さなこげ跡」も火災として扱い、原因を調べて火災予防につなげています。



▲コンセント



▲モバイルバッテリー



▲電気火災の原因調査

オンラインで様々なコンテンツをご覧いただけます

ネットで自衛消防訓練



防火管理に係る届出要領



火災から命を守る自主防火



Topic

A R 訓練機器

A R 訓練機器を通して現実世界に炎や煙を映し、より臨場感のある訓練を実施することができます。屋内での初期消火訓練や煙からの避難訓練を実施することができます。



▲A R 訓練機器を使用した自衛消防訓練



▲A R 訓練機器で見えている映像

防災

地震火災発生！

市民の皆様
初期消火により地震火災の
被害を7割～9割も減らす
ことができます。
やってみよう！消火体験！！

初期消火訓練
(模擬消火器)

都民のみなさまの安全・安心な暮らしを守るため、防災に関する様々な取組を行っています。

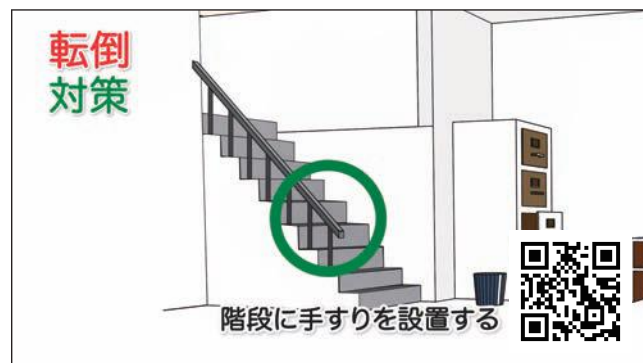
住宅用火災警報器等の維持管理の促進

定期的に点検を行いましょう。正常な場合は正常を知らせる音声や警報音が流れます。また、設置から10年を目安に本体を交換しましょう。



高齢者などの安全対策

高齢者や障害者等の火災・地震・日常生活事故による被害を防止するため、住居内の危険箇所を知り、事前に対策を立てておきましょう。



※「高齢者等の住宅での事故の危険性とその対策」動画から引用

家具類の転倒・落下・移動防止対策

地震により家具類の転倒・落下・移動が起こると、けが・火災・避難障害の発生危険があります。事前に対策をしましょう。



こどもの日常生活事故防止

日常生活で起きるこどもの事故事例や予防策を知って、こどもの成長に応じて起きる様々な事故を防ぎましょう。



防災訓練に参加し防災行動力を向上させましょう！

まちかど防災訓練

ご自宅近辺の路上など、身近な場所で初期消火訓練や救出救助訓練をご近所同士で行う実践的な訓練です。



▲住宅街の路上で行われた消火訓練

マンション防災訓練

地震直後のマンションに潜む、消防用設備の損傷等のリスクの周知や、災害対策の実施を促進しています。



▲マンションのロビーでAR訓練機器を使った消火訓練
※AR訓練機器の詳細は26ページをご覧ください。

防火防災訓練ポータルサイト

防火防災に役立つ動画の視聴や防災に関するクイズに挑戦できます。当庁HPからご利用できます。



▲防火防災訓練ポータルサイトのトップ画面

VR映像を使った防災教育

災害を360度の視点で疑似体験できる「B-VR (ビーバー)」を使い、防災教育を実施しています。



▲小学校での「B-VR (ビーバー)」を使った授業の様子

防災訓練用車両の紹介

VR防災体験車



▲火災・地震・水災を疑似体験

起震車



▲地震の揺れを体験

まちかど防災訓練車



▲消火器を使った初期消火訓練

Topic

関東大震災から100年

令和5年9月1日は、甚大な被害をもたらした関東大震災から100年の節目となりました。過去の災害から学び、現在そして未来を守るため、防災イベント等を開催しました。動画での学習や防災訓練に実際に参加し、一人一人がいざという時のために防災行動力を高めましょう。

※防災訓練の情報は、東京消防庁公式アプリのマップ機能で検索できます。公式アプリは32ページをご覧ください。



▲東京国際消防防災展2023での特設展示



▲地震その時10のポイント動画



「黒煙の中の日比谷交差点」
出典：東京都復興記念館所蔵資料

消防団



特別区（向島消防団）

多摩地域（立川市消防団）

消防団員の入団条件

- 18歳以上の健康な方
- 消防団の区域に居住、勤務又は通学している方

消防団員の処遇

- 【報酬】
年額報酬や出場手当の支給があります。
- 【公務災害補償】
活動中に負傷した場合の様々な補償があります。
- 【被服等の給貸与】
活動時に必要な活動服や制服等が支給されます。
- 【退職報償金】
5年以上の消防団活動を行った方が退団した時に支給されます。
- 【表彰】
活動にあたって功労、功績があった場合に表彰されます。



消防団員募集



0120-119-588 <https://tokyo23city-syobodan.jp/>
午前9時から午後5時まで（土・日・祝日を除く）
詳しくは特別区消防団HPをご覧ください。
市町村の方は、各市町村の窓口までお問い合わせください。

23区内に
お住まいの方



市町村に
お住まいの方



消防団の技能講習

消防団員には、第三級陸上特殊無線技士や二級小型船舶操縦士、可搬消防ポンプ等整備資格者、応急手当指導員、応急手当普及員などさまざまな資格が取得できる機会があります。また、手話や英会話など、スキルアップに役立つ講習を受講することもできます。

◀手話の教養を受けている消防団員

消防団の組織

東京の消防団は都知事が管理する特別区と各市町村長が管理する多摩・島しょ地区にそれぞれ設置されています。装備や制服・処遇など各市町村で異なるものもありますが、災害活動や防火指導など基本的な活動は変わりません。各消防団の現況については下表のとおりです。

	団員定数	団数	事務担当
特別区 (23区)	16,000人	58団	23区 各消防署
多摩地域	9,050人	30団	各市町村
島しょ地域	1,587人	10団	

※令和5年4月1日現在

消防団の施設

分団本部施設は、消防団員の活動拠点として活用しています。主に、火災や震災等の大規模災害時の参集場所、教育訓練、資機材の点検、分団会議及び警戒の拠点として使用し、各種資機材等を収納できる格納庫及び会議や訓練スペース等を併せ持った施設として整備しています。



▲赤坂消防団第3分団本部（令和5年1月完成）



▲滝野川消防団第1分団本部（令和4年12月完成）

分団本部施設の規模・構造等

規模	延べ面積：約80㎡ 平屋または2階建 (1階格納庫、2階会議室等スペース)
構造	鉄骨造
設備	電気・給排水設備

可搬ポンプ積載車

特別区では、可搬ポンプ及び各種資機材を災害現場まで搬送するため緊急走行可能な軽自動車を320台配置しています。

(令和5年4月1日現在)



Topic

消防団の組織力を充実・強化するための制度

- 【機能別団員制度】
広報や応急救護指導などの特定の任務に限定して活動する制度です。
- 【大規模災害団員制度】
消防職員・消防団員経験者、医療・建築関係従事者などを対象とし、大規模災害に限定して活動する制度です。

※詳しくは最寄りの消防署へお問合せください。



▲大規模災害団員の活動の様子

都民のみなさまとともに



災害に強いまちづくりを目指し、各種行事、防災情報の発信、幼少期からの消防とのふれあいや、防災教育などを通じて、都民のみなさまへの防火・防災意識の普及に努めています。

東京消防庁音楽隊

「地域と奏でる防災のハーモニー」をキャッチフレーズとし、様々な行事や式典での演奏活動を通して、防火防災を呼び掛けています。国家的行事をはじめ、都民と消防のふれあいコンサート、避難訓練コンサートなど、都内各地で演奏しています。

東京消防庁カラーガーズ隊

音楽隊とともにパレードや広報イベントなどに参加し、消防のイメージにふさわしい規律あるさわやかな演技で、都民の皆様へ防火防災を呼び掛けています。



消防少年団

消防の仕事や火災予防に関心のある小学校1年生から高校3年生までの団員とボランティアの指導者によって結成されています。



▲演習で初期消火をする消防少年団員

東京消防庁災害時支援ボランティア

震災等災害時に応急救護活動や消防署の後方支援活動を行います。また、平常時は消防職員と連携し、地域住民に対する防災訓練指導を行います。



▲応急救護訓練の指導をする災害時支援ボランティア

情報発信

東京消防庁公式ホームページ

東京消防庁ホームページでは、都民のみなさまの防災意識と防災行動力を高めるため、災害統計をはじめ、各種災害の教訓、地震対策の情報、けがや事故の予防情報などの生活に密着した消防・防災情報をタイムリーに提供しています。



ホームページ トップ画面



申請様式



電子学習室



東京消防庁公式アプリ

多くの機能を備え、ユーザー個々の興味関心に合わせて利用できる「緊急時にも役に立つ」アプリです。



SNS による情報発信

X (旧Twitter)とFacebookにて公式アカウントを開設し、季節ごとの日常生活事故の注意喚起や、イベントの情報などを発信しています。



X (旧Twitter) : @Tokyo_Fire_D



Facebook : @TokyoFireDepartment

YouTube 東京消防庁公式チャンネル

東京消防庁の紹介、災害現場における消防隊の活動などを配信しているほか、楽しく防災を学べる動画や、新たな部隊、車両の紹介動画など豊富なコンテンツを配信しています。

チャンネル登録よろしくお願いします！



見学・体験施設のご案内

消防博物館

江戸時代に描かれた絵巻や錦絵、大正時代の消防クラシックカーから最新の消防隊の装備まで、消防に関する資料を展示しています。開館日の午後1時45分から館内を案内するガイドツアーを実施しており、子供から大人まで楽しみながら消防への理解を深めることができます。



所 在：東京都新宿区四谷3-10
(東京メトロ丸ノ内線四谷三丁目駅2番出口直結)
電 話：03-3353-9119 (代表)
開 館 時 間：午前9時30分から午後5時まで
(入場無料)
休 館 日：月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)

防 災 館

防災館は、インストラクターの説明のもと、地震の揺れや煙、初期消火、応急手当などをツアー形式で実際に体験し、「もしも」に役立つ防災力を高めることができる施設です。



池袋防災館

所 在：豊島区西池袋2-37-8
電 話：03-3590-6565
休 館 日：第1火曜日・第3火曜日、第3火曜日の翌日
(祝日の場合は直後の平日)、年末年始

※池袋消防署の4階が入口です。



●池袋駅から徒歩5分



●ナイトツアー実施中(毎週金曜日)

本所防災館

所 在：墨田区横川4-6-6
電 話：03-3621-0119
休 館 日：水曜日、第3木曜日
(祝日の場合は直後の平日)、年末年始

※本所消防署に併設しています。



●最新鋭の地震体験



●都市型浸水・暴風雨体験

立川防災館

所 在：立川市泉町1156-1
電 話：042-521-1119
休 館 日：木曜日、第3金曜日
(祝日の場合は直後の平日)、年末年始

※立川消防署に隣接しています。



●子供向けの体験設備やスペースが充実



●車での来館可能

各種窓口のご案内

都民相談窓口

東京消防庁では、広報課(本部庁舎)のほか、各消防署、消防分署、消防出張所に都民相談窓口を設けて消防に対する意見や要望等をお伺いしています。

広報課 都民の声係

電 話 番 号：03-3212-2111(代表) 内線2325
FAX番号：03-3212-1027
e-mail tfdinfo@tfd.metro.tokyo.jp

平日午前8時30分から午後5時15分

※平日とは月曜日から金曜日までで、祝日、休日、年末年始(12月29日～1月3日まで)を除きます。

災害情報案内

23区内：03-3212-2119 多摩地区：042-521-2119

消防署窓口

※消防署により担当係・業務が異なる場合があります。必ず事前にお問い合わせください。

●総務課

管 理 係：採用試験の案内
経 理 係：消防手数料の支払い

●予防課

防火管理係：防火管理・消防計画の届出
防火対象物点検報告制度
自衛消防訓練
各種試験・講習の申込み

●警防課

防災安全係：消防団・災害時支援ボランティア・
消防少年団
防災訓練の申込み・指導
震災対策・住宅防火対策

予 防 係：消防用設備等の設置相談
建物の防火に関する相談・使用届
催し物の届出

消 防 係：火災とまぎらわしい行為の届出
道路工事・水道の断水等の届出

査 察 係：消防用設備等の点検報告、立入検査の改修報告
危 険 物 係：危険物の許可・認可
火災で受けた損害の証明書(り災証明書)の申請

救 急 係：救命講習・応急救護訓練の申込み・指導
救急車を利用した際の搬送証明

機械装備係：消防車両・資器材等の問合せ

●消防分署・消防出張所

上記の事務を受付けていますが、内容により分署及び出張所では対応できない場合がありますので、事前にご相談ください。